

山や崖、川や水路には

① 大雨が降ったら
② 地震が起きたら

場所身を寄せる

③ 必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら

誰かが入りやすく、誰からも見えにくい場所には

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、交通ルールを守りましょう。

を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なものとなるのか、日頃から考えておこう。

歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも

防災

防犯

① すぐに
② 大きな声で
③ 必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

誰かが入りやすく、誰からも見えにくい場所には

交通安全

交通安全

歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも

を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なものとなるのか、日頃から考えておこう。

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、交通ルールを守りましょう。

誰かが入りやすく、誰からも見えにくい場所には

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら

① すぐに
② 大きな声で
③ 必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

防犯

3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!

どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

防災

地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

大雨

地震

例えば...

まとめると...

古びていたり、高さのあるブロッコリーの側
崖の近く
河川敷や水路沿い

防犯

誰かが「入りやすく」、誰からも「見えにくい」場所

例えば...

まとめると...

人通りの少ない道路やトンネル
落書きやゴミがそのままにされている場所
空き家と思われる住宅

交通安全

「飛び出し」が発生しやすい場所

例えば...

まとめると...

ブロッコリーや自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
信号機のない横断歩道
歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
車と車の間

1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

どんな危険があるのかな?

考えてみよう! ~中学生のみなさんへ~

避難所の様子を見てみよう (たかつき安全ノートP.36)

避難所は、災害発生時に自宅で生活できなくなった被災者が一定期間過ごすための場所です。避難所での生活は普段の生活とは大きく異なり、さまざまな制限を受け入れて生活しなくてはなりません。そのため、ルールを守り、役割分担をして助け合うことが大切です。避難所生活の様子について考えてみましょう。

- Q1. あなたの避難所はどこですか。
- Q2. 災害発生時、避難所への避難が必要なのはどのような状況のときでしょうか。
- Q3. 普段の生活と避難所での生活を比べてみましょう。

	普段の生活	避難所での生活
食事		
睡眠		
衛生面		

(衛生面…トイレ、お風呂、ゴミの処理など)

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

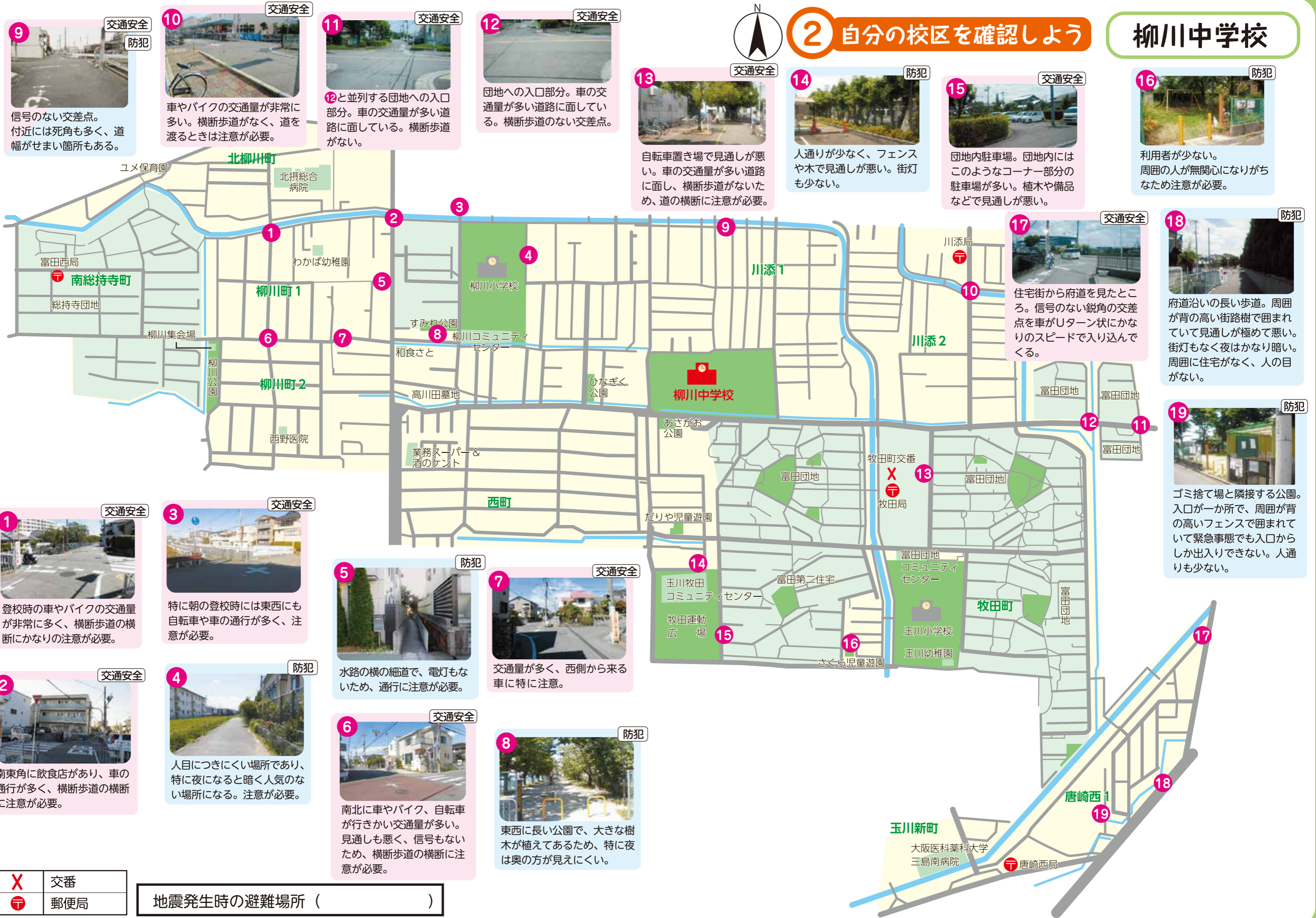
「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。



柳川中学校

2 自分の校区を確認しよう



9 交通安全 防犯
信号のない交差点。付近には死角も多く、道幅がせまい箇所もある。

10 交通安全
車やバイクの交通量が非常に多い。横断歩道がなく、道を渡るときは注意が必要。

11 交通安全
12と並列する団地への入口部分。車の交通量が多い道路に面している。横断歩道がない。

12 交通安全
団地への入口部分。車の交通量が多い道路に面している。横断歩道のない交差点。

13 交通安全
自転車置き場で見通しが悪い。車の交通量が多い道路に面し、横断歩道がないため、道の横断に注意が必要。

14 防犯
人通りが少なく、フェンスや木で見通しが悪い。街灯も少ない。

15 交通安全
団地内駐車場。団地内にはこのようなコーナー部分の駐車場が多い。植木や備品などで見通しが悪い。

16 防犯
利用者が少ない。周囲の人が無関心になりがちなので注意が必要。

17 交通安全
住宅街から府道を見たところ。信号のない鋭角の交差点を車がUターン状にかなりのスピードで入り込んでくる。

18 防犯
府道沿いの長い歩道。周囲が背の高い街路樹で囲まれていて見通しが極めて悪い。街灯もなく夜はかなり暗い。周囲に住宅がなく、人の目がない。

19 防犯
ゴミ捨て場と隣接する公園。入口が1か所で、周囲が背の高いフェンスで囲まれていて緊急事態でも入口からしか出入りできない。人通りも少ない。

1 交通安全
登校時の車やバイクの交通量が非常に多く、横断歩道の横断にかなりの注意が必要。

3 交通安全
特に朝の登校時には東西にも自転車や車の通行が多く、注意が必要。

5 防犯
水路の横の細道で、電灯もないため、通行に注意が必要。

7 交通安全
交通量が多く、西側から来る車に特に注意。

2 交通安全
南東角に飲食店があり、車の通行が多く、横断歩道の横断に注意が必要。

4 防犯
人目につきにくい場所であり、特に夜になると暗く人気のない場所になる。注意が必要。

6 交通安全
南北に車やバイク、自転車が行きかき交通量が多い。見通しも悪く、信号もないため、横断歩道の横断に注意が必要。

8 防犯
東西に長い公園で、大きな樹木が植えてあるため、特に夜は奥の方が見えにくい。

X	交番
〒	郵便局

地震発生時の避難場所 ()